

## 戸開走行保護装置検査記録表（油圧式）

					検査日： 年 月 日	検査者： 印			
	検査項目	検査事項	検査方法	判定基準(NG基準)	測定値・確認記録	結果	特記事項		
戸開走行保護装置	I	戸開走行保護装置形名と大臣認定番号の確認	表示の確認	目視	規定の名前と番号でないこと 名称：油圧式エレベーター 戸開走行保護装置 番号：ENNNUN-0195	—	良・否		
	II	制御基板及び制御プログラムの確認	型番の確認	目視	UCMPコントロールの基板の型番が当社規定でないこと 番号：PKHAS08001	—	良・否		
			外観の確認	触診・目視	取付部に緩み・異常があること	—	良・否		
			作動の状況	戸開走行保護装置の作動状況を確認する	EV上昇中に強制戸開させて、エレベーターが停止しないこと	—	良・否		
	III	特定距離感知装置の確認	外観の確認	触診・目視	取付部に緩み・異常があること	—	良・否		
			動作の状況	測定	挟まれ防止クリアランス(かご床—乗場出入口上枠)が基準値(100cm)未満であること	—	cm	良・否	
			動作の状況	測定	転落防止クリアランス(乗場床—かご側エプロン下端)が基準値(11cm)を超えること	—	cm	良・否	
	IV	戸開走行保護装置のブレーキ確認	外観の確認	測定値より算出	2個の逆止弁が相互に10分間動作して、EVの沈下が基準値(40mm)以上沈下すること	—	良・否		
	V	電磁接触器の動作確認	作動の状況	目視	電磁接触器の電源をON/OFFして、コンタクトの作動が円滑でないこと	—	良・否		
	VI	かご戸のスイッチ確認	作動の状況	目視	戸開閉させた時のスイッチの作動が円滑でないこと	—	良・否		
VII	乗場戸のスイッチ確認	作動の状況	目視	戸開閉させた時のスイッチの作動が円滑でないこと	—	良・否			

整理番号

## 戸開走行保護装置検査記録表（油圧式S200）

					検査日： 年 月 日	検査者： 印		
	検査項目	検査事項	検査方法	判定基準(NG基準)	測定値・確認記録	結果	特記事項	
戸開走行保護装置	I	戸開走行保護装置形名と大臣認定番号の確認	表示の確認	目視	規定の名前と番号でないこと 名称：油圧式エレベーター 戸開走行保護装置 番号：ENNNUN-1109	—	良・否	
	II	制御基板及び制御プログラムの確認	型番の確認	目視	UCMPコントロールの基板の型番が当社規定でないこと 番号：PKHAS08002	—	良・否	
			外観の確認	触診・目視	取付部に緩み・異常があること	—	良・否	
			作動の状況	戸開走行保護装置の作動状況を確認する	EV上昇中に強制戸開させて、エレベーターが停止しないこと	—	良・否	
	III	特定距離感知装置の確認	外観の確認	触診・目視	取付部に緩み・異常があること	—	良・否	
			動作の状況	測定	挟まれ防止クリアランス(かご床一乗場出入口上枠)が基準値(100cm)未満であること	— cm	良・否	
	IV	戸開走行保護装置のブレーキ確認	外観の確認	測定値より算出	2個の逆止弁が相互に2分間動作して、EVの沈下が基準値(30mm)以上沈下すること	—	良・否	
V	電磁接触器の動作確認	作動の状況	目視	電磁接触器の電源をON/OFFして、コンタクタの作動が円滑でないこと	—	良・否		
VI	かご戸のスイッチ確認	作動の状況	目視	戸開閉させた時のスイッチの作動が円滑でないこと	—	良・否		
VII	乗場戸のスイッチ確認	作動の状況	目視	戸開閉させた時のスイッチの作動が円滑でないこと	—	良・否		

整理番号 \_\_\_\_\_

## 戸開走行保護装置検査記録表（ロープ式）

					検査日： 年 月 日	検査者： 印		
	検査項目	検査事項	検査方法	判定基準判定基準(NG基準)	測定値・確認記録	結果	特記事項	
戸開走行保護装置	I	戸開走行保護装置形名と大臣認定番号の確認	表示の確認	目視	規定の名前と番号でないこと 名称：ロープ式エレベーター 戸開走行保護装置 番号：ENNNUN-0147	—	良・否	
	II	制御基板及び制御プログラムの確認	型番の確認	目視	UCMPコントロールの基板の型番が当社規定でないこと 番号：PKRAS08001	—	良・否	
			外観の確認	触診・目視	取付部に緩み・異常があること	—	良・否	
			作動の状況	戸開走行保護装置の作動状況を確認する	EV上昇中に強制戸開させて、エレベーターが停止しないこと	—	良・否	
	III	特定距離感知装置の確認	外観の確認	触診・目視	取付部に緩み・異常があること	—	良・否	
			動作の状況	測定	挟まれ防止クリアランス(かご床—乗場出入口上枠)が基準値(100cm)未満であること	cm	良・否	
			動作の状況	測定	転落防止クリアランス(乗場床—かご側エプロン下端)が基準値(11cm)を超えること	cm	良・否	
	IV	戸開走行保護装置のブレーキ確認	作動の状況	測定値より算出	2個のブレーキのブレーキギャップがそれぞれ基準値(0.45mm)以上であること	1個目 mm 2個目 mm	良・否	
	V	ブレーキ動作感知装置の確認	作動の状況	目視	ブレーキを作動させた時のスイッチの作動が円滑でないこと	—	良・否	
	VI	電磁接触器の動作確認	作動の状況	目視	電磁接触器の電源をON/OFFして、コンタクタの作動が円滑でないこと	—	良・否	
VII	かご戸のスイッチ確認	作動の状況	目視	戸開閉させた時のスイッチの作動が円滑でないこと	—	良・否		
VIII	乗場戸のスイッチ確認	作動の状況	目視	戸開閉させた時のスイッチの作動が円滑でないこと	—	良・否		

整理番号 \_\_\_\_\_

## 戸開走行保護装置検査記録表（ロープ式Hシリーズ）

					検査日: 年 月 日	検査者: 印		
	検査項目	検査事項	検査方法	判定基準判定基準(NG基準)	測定値・確認記録	結果	特記事項	
戸開走行保護装置	I	戸開走行保護装置形名と大臣認定番号の確認	表示の確認	目視	規定の名前と番号でないこと 名称: ロープ式エレベーター 戸開走行保護装置 番号: ENNNUN-2393	—	良・否	
	II	制御基板及び制御プログラムの確認	型番の確認	目視	UCMPコントロールの基板の型番が当社規定でないこと 番号: PKCADB3002	—	良・否	
			外観の確認	触診・目視	取付部に緩み・異常があること	—	良・否	
			作動の状況	戸開走行保護装置の作動状況を確認する	EV上昇中に強制戸開させて、エレベーターが停止しないこと	—	良・否	
	III	特定距離感知装置の確認	外観の確認	触診・目視	取付部に緩み・異常があること	—	良・否	
			動作の状況	測定	挟まれ防止クリアランス(かご床—乗場出入口上枠)が基準値(100cm)未満であること	cm	良・否	
			動作の状況	測定	転落防止クリアランス(乗場床—かご側エプロン下端)が基準値(11cm)を超えること	cm	良・否	
	IV	戸開走行保護装置のブレーキ確認	作動の状況	測定値より算出	2個のブレーキのブレーキギャップがそれぞれ基準値(0.45mm)以上であること	1個目 mm 2個目 mm	良・否	
	V	ブレーキ動作感知装置の確認	作動の状況	目視	ブレーキを作動させた時のスイッチの作動が円滑でないこと	—	良・否	
	VI	電磁接触器の動作確認	作動の状況	目視	電磁接触器の電源をON/OFFして、コンタクタの作動が円滑でないこと	—	良・否	
VII	かご戸のスイッチ確認	作動の状況	目視	戸開閉させた時のスイッチの作動が円滑でないこと	—	良・否		
VIII	乗場戸のスイッチ確認	作動の状況	目視	戸開閉させた時のスイッチの作動が円滑でないこと	—	良・否		

整理番号 \_\_\_\_\_

## 戸開走行保護装置検査記録表（中低層）

					検査日： 年 月 日	検査者： <span style="float: right;">印</span>			
		検査項目	検査事項	検査方法	判定基準判定基準(NG基準)	測定値・確認記録	結果	特記事項	
戸開走行保護装置	I	戸開走行保護装置形名と大臣認定番号の確認	表示の確認	目視	規定の名前と番号でないこと ロープトラクション式エレベーター 戸開走行保護装置(PHETUCMP-001型) ENNNUN-1559	—	良・否		
	II	制御基板及び制御プログラムの確認	型番の確認	目視	UCMPコントロールの基板の型番が当社規定でないこと PKTADB3001(UCMP制御盤蓋の裏面)	—	良・否		
			外観の確認	触診・目視	取付部に緩み・異常があること	—	良・否		
			作動の状況	戸開走行保護装置の作動状況を確認する	EV昇降中に強制戸開させて、エレベーターが停止しないこと	—	良・否		
	III	特定距離感知装置の確認	外観の確認	触診・目視	取付部に緩み・異常があること	—	良・否		
			動作の状況	測定	挟まれ防止クリアランス(かご床—乗場出入口上枠)が基準値(100cm)未満であること	—	cm	良・否	
			動作の状況	測定	転落防止クリアランス(乗場床—かご側エプロン下端)が基準値(11cm)を超えること	—	cm	良・否	
	IV	戸開走行保護装置のブレーキ確認	作動の状況	測定値より算出	2個のブレーキのブレーキギャップがそれぞれ基準値(0.80mm)以上であること	上 下	mm mm	良・否	
	V	ブレーキ動作感知装置の確認	作動の状況	目視	ブレーキを作動させた時のスイッチの作動が円滑でないこと	—		良・否	
	VI	電磁接触器の動作確認	作動の状況	目視	電磁接触器の作動が円滑でないこと	—		良・否	
VII	かご戸のスイッチ確認	作動の状況	目視	戸開閉させた時のスイッチの作動が円滑でないこと	—		良・否		
VIII	乗場戸のスイッチ確認	作動の状況	目視	戸開閉させた時のスイッチの作動が円滑でないこと	—		良・否		

整理番号 \_\_\_\_\_

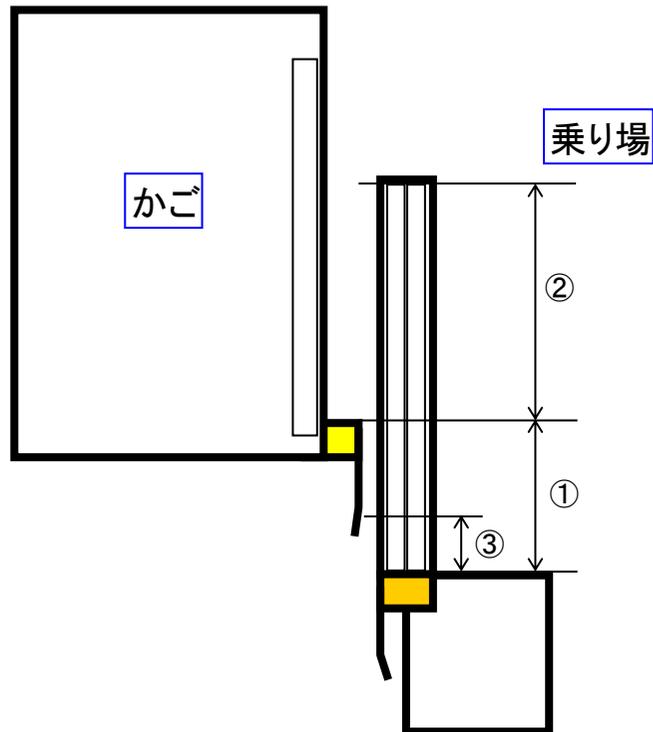
## 戸開走行保護装置における検査確認手順

特定距離感知装置の設定位置確認

- 1 エレベーターを最下階に着床させる。
- 2 メンテナンスツールにて、特定距離感知装置の入力信号を表示させる。 M-3-1-1 GOON1回
- 3 手動運転に切り替える。
- 4 手動上昇運転にてE Vを上昇させ、入力信号が切り替わった所で停止させる。

[入力 SDS→s d s (遮蔽→開放) ]

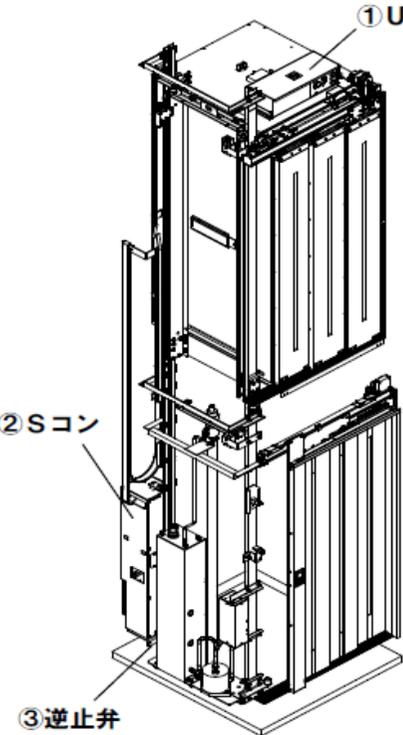
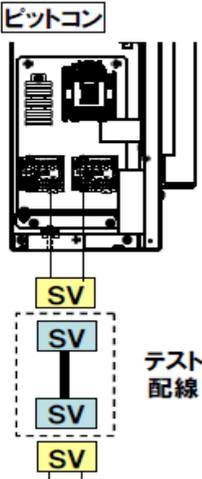
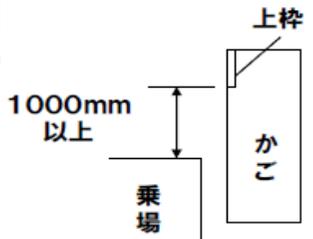
- 5 乗場扉を開け、最下階敷居高さとかご敷居高さの差を確認する。
- 6 図示の寸法になっていることを確認する。



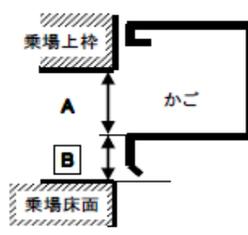
寸法を測定する点

- ① レベル段差
- ② かご敷居～乗場三方枠上枠の下端部 (挟まれ防止)  
規定値 100 cm以上
- ③ 乗場敷居～かご側トーガード直線部下端 (転落防止)  
規定値 11 cm以下

# 戸開走行保護装置における検査確認手順【S200シリーズ】

検査項目	品質管理ポイント	点検部品位置		
<h2 style="text-align: center;">戸開走行保護装置</h2>				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>使用工具</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SVT</li> <li>・SVテスト配線</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>点検部品位置</b> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>①カーコン内 UCMP</li> <li>②ビットコン内 Sコン</li> <li>③油圧ユニット内 逆止弁</li> </ol>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>テスト配線</p> <p>テスト配線接続方法</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2)制動能力の確認</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>検査・作業事項</b> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>検査・作業方法</b> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>判定基準</b> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>報告書番号</b> </div>
<p>1:設置及び作動の状況</p> <p>1)作動の状況</p> <p>2)制動能力の確認</p> <p>3)逆止弁の漏れ量確認</p> <p>4)電磁開閉器の接点確認</p>	<p>エレベーターを運転し、ドアゾーン外で乗場の施錠装置を開錠する</p> <p>SVTでテストモードにする。次にテスト配線にてSV2を開放状態にしエレベーターを運転し、目視による確認又は測定する。同様の検査をSV1を開放した状態で行う</p> <p>SVTにて漏れチェック開始時刻を変更し、漏れチェックの作動の状況を確認する</p> <p>SVTにてSコンチェック開始時刻を変更しSコンチェックの作動の状況を確認する</p>	<p>エレベーターが停止すること</p> <p>ドアゾーンから外れるとエレベーターが停止すること</p> <p>停止した時のかご上枠と乗場敷居の距離が1000mm以上であること (SV1、SV2共に)</p> <p>漏れチェックが開始し正常に完了すること</p> <p>Sコンチェックが開始すること Sコンチェックが正常に完了すること</p>	<p>2-(13)</p>	

# 戸開走行保護装置における検査確認手順【中低層】

No.	仕様規定	試験方法	判定条件 (NG状態)
1	戸開走行保護装置の作動確認	エレベーターがドアゾーン外にいる時 (概ね、階床間の中間位置) 乗場の錠(インターロック)を外す。	エレベーターが停止しないこと ・電動機及びブレーキの 励磁コイル電流を遮断 する電磁接触器が消磁しない ・常時作動ブレーキが作動しない
2	電磁接触器接点溶着確認 ブレーキの制動能力確認	<p>① TESTモードへの移行 点検BOX内の [TEST] 鈕を長押しする。 EVがTEST MODEに移行し、最上階まで 昇降し、着床する。</p> <p>② 電磁接触器接点溶着確認 着床後の戸開動作中に電磁接触器の 接点をON/OFFさせ、溶着確認を行う。 異常発生時はエラーにてUCMPが 作動し、制止する。</p> <p>③ 制動試験 戸閉後、最寄下方階に移動する。 点検BOX内の「CLEAR」鈕を3回押すと 制動試験がスタートし、上昇する。 特定距離を越えると、UCMPが作動し、 EVが停止する。</p> <p>④ 停止距離の確認 停止後、かごの停止位置 (図B寸法) を測定する</p>	<p>停止距離Bが58cmを超えること 前回の測定データに対して 変化量が7cm以上であること</p>  <p>※ Bを確保できれば 挟まり防止クリア ランスAは必ず100cm 以上になるので、 Bのみ測定する。</p>

点検項目	測定対象	判定基準	測定器	参照先
① ブレーキギャップ	ブレーキ1、2について それぞれ測定する	0.80mm以下	シクネスゲージ	図①-1、①-2、①-3
② 動作感知スイッチ	スイッチ	スムーズな動作 ON-OFF確認 異音なきこと	メンテツール	図③-1、③-2
③ 昇降動作	かご	スムーズな動作 異音なき事	目視 聴覚	
④ 油付着確認	ブレーキ1、2	油付着なきこと	目視	図⑤-1、⑤-2
⑤ 全体	締結部	ボルトナットに緩み無きこと		

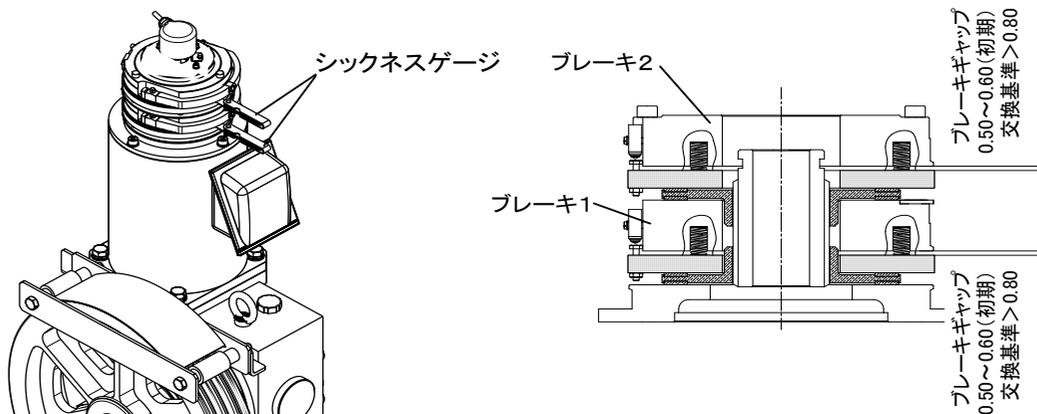


図.1ブレーキギャップ測定

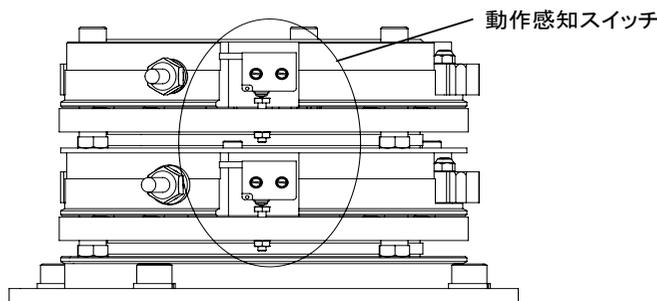


図.2ブレーキ動作感知スイッチ